

Ⅲ 地域福祉班

1 地域福祉

- (1) 地域福祉の推進
- (2) 社会福祉協議会
- (3) 民生委員・児童委員
- (4) 生活困窮者自立支援事業

2 障害者福祉

- (1) 障害者福祉(障害者総合支援法)
- (2) 身体障害者福祉
- (3) 知的障害者福祉
- (4) 自立支援給付支給事務等に関する市町村指導及び障害福祉サービス事業者指導等
- (5) 特別障害者手当
- (6) 沖縄県心身障害者扶養共済制度

3 児童福祉

- (1) 管内児童人口の状況
- (2) 家庭児童相談室
- (3) 要保護児童対策地域協議会
- (4) 助産制度
- (5) 保育行政・保育所指導監査

4 老人福祉・介護保険

- (1) 高齢人口(65歳以上)
- (2) 介護保険事業者の指定・変更・
実地指導状況及び管内事業所数
- (3) 高齢者福祉関係基礎資料

5 母子父子寡婦福祉

- (1) 母子世帯の実態
- (2) 父子世帯の実態
- (3) 母子及び父子並びに寡婦福祉対策

6 配偶者暴力相談支援センター

- (1) 業務の内容
- (2) 相談状況

1 地域福祉

(1) 地域福祉の推進

社会福祉法第4条において「福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように地域福祉の推進に努めなければならない」としている。このことを目的として、当所では、市町村社会福祉協議会、地区民生委員・児童委員協議会をはじめとした、福祉関係諸団体と連携し、事業を進めている。

(2) 社会福祉協議会

社会福祉協議会は、社会福祉法に基づき、都道府県・市町村に設置されている機関である。この機関は、一定の地域において、公私の社会福祉事業関係者や社会福祉事業に関心と熱意を持つ者の参加と協働の下に、その地域の社会福祉活動の相互連絡、総合整備や組織化、効率化を促進することによって地域住民の福祉を増進することを目的とするものであり、地域福祉活動を推進していく上で中核的な役割を担う民間組織である。

当所管内市町村に設置されている社会福祉協議会においても、社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、調査等を行うとともに、住民の社会福祉活動参加のための援助やボランティア活動の推進、並びに各種相談事業、共同募金に関する事業、生活福祉資金貸付事業等を行っている。

福祉事務所では、社会福祉法人である社会福祉協議会が適正な法人運営、事業運営及び施設運営を図ることを目的として、社会福祉法人等指導監査要綱に基づき町村社会福祉協議会の指導監査を行っており、平成29年度は管内2町村の社会福祉協議会に指導監査を実施した。

(3) 民生委員・児童委員

民生委員は、民生委員法に基づき都道府県知事の推薦により厚生労働大臣から委嘱されるもので、その任期は3年である。

民生委員は、一定の区域を担当し、その地域住民の生活状態を詳細に把握し、要保護者の相談に乗るとともに、必要な援助を行う。また民生委員は児童福祉法に基づく児童委員も兼ねており、児童福祉の推進という任務も持っている。さらに主任児童委員は、より児童福祉を専門に扱い、積極的な相談、支援活動を展開している。

福祉事務所や関係機関と連携し、公的機関が行う業務に対し協力する役割も担っている。

表1 管内民生委員・児童委員配置状況

平成29年度末現在(単位:人)

	名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	合計
定数	109 (8)	24 (2)	18 (2)	8 (2)	26 (2)	36 (2)	13 (2)	7 (2)	7 (2)	248 (24)
現員	84 (8)	23 (2)	18 (2)	7 (2)	23 (2)	31 (2)	13 (2)	7 (2)	6 (2)	212 (24)

(任期:平成28年12月1日~平成31年11月30日) ※ () 内の数字は主任児童委員数の再掲

表2 民生委員・児童委員の活動状況

平成29年度末現在（単位：件、回、日）

		名 護 市	国 頭 村	大 宜 味 村	東 村	今 婦 仁 村	本 部 町	伊 江 村	伊 平 屋 村	伊 是 名 村	北 部 合 計	沖 縄 県
内容別相談・支援件数	在宅福祉(1)	224	14	6	17	17	135	2	0	0	415	2,754
	介護保険(2)	85	4	11	9	19	10	6	0	1	145	973
	健康・医療(3)	91	5	19	34	45	29	0	1	6	230	1,822
	子育て・保健(4)	105	3	0	14	18	2	1	0	10	153	1,732
	子ども生活(5)	1,707	2	6	0	30	13	1	73	57	1,889	6,528
	子どもの教育・生活(6)	595	4	101	9	72	71	4	81	27	964	6,197
	生活費(7)	110	0	3	59	26	25	2	0	3	228	1,256
	年金・保険(8)	54	0	1	3	3	4	2	0	0	67	390
	仕事(9)	18	0	2	2	7	7	0	0	0	36	548
	家族関係(10)	57	1	2	3	17	21	0	0	0	101	1,176
	住居(11)	43	0	0	2	20	10	2	0	0	77	551
	生活環境(12)	101	1	22	9	32	10	8	0	12	195	1,688
	日常的な支援(13)	605	98	303	0	245	163	34	3	65	1,516	11,458
	その他(14)	781	1	256	2	421	64	54	1	15	1,595	11,282
計(15)	4,576	133	732	163	972	564	116	159	196	7,611	48,355	
分野別相談・支援件数	高齢者にと(16)	1,337	54	464	142	348	360	52	4	85	2,846	20,749
	障害者にと(17)	163	65	29	4	27	37	13	1	4	343	2,939
	子どもにと(18)	2,467	11	139	10	135	93	7	153	99	3,114	15,661
	その他(19)	609	3	100	7	462	74	44	1	8	1,308	9,006
計(20)	4,576	133	732	163	972	564	116	159	196	7,611	48,355	
その他の活動件数	調査・実態把握(1)	388	41	51	16	34	126	16	1	17	690	10,523
	行事・事業・会議への参加協力(2)	2,479	178	616	147	1,551	445	330	101	267	6,114	41,858
	地域福祉活動・自主活動(3)	5,787	270	983	265	447	579	580	127	471	9,509	80,153
	民児協運営・研修(4)	1,696	91	203	106	850	408	220	63	99	3,736	35,216
	証明事務(5)	388	14	15	9	98	43	33	76	18	694	8,744
	要保護児童の発見通告・仲介(6)	47	14	0	0	10	0	4	0	1	76	523
回数訪問	訪問・連絡活動(7)	2,784	654	1,521	213	1,675	1,443	872	1,508	317	10,987	68,952
	その他(8)	665	118	1,057	58	434	771	982	27	38	4,150	44,170
回数連絡調整	委員相互(9)	1,761	96	129	11	321	472	119	32	86	3,027	53,285
	その他関係(10)	953	46	158	47	154	431	235	24	85	2,133	29,913
活動日数(11)	11,231	757	2,096	677	3,348	2,681	1,196	466	856	23,308	184,628	

(4) 生活困窮者自立支援事業

生活困窮者自立支援法の施行に伴い、平成27年4月1日から生活に困窮している者に対し、生活保護に至る前の段階で自立に向けた支援を行うこととなった。

北部管内の8町村については、沖縄県が相談窓口「就職・生活支援パーソナルサポートセンター北部」を設置しており、主な支援メニューは、以下のとおりである。

ア 自立相談支援事業

生活の困りごとや不安に対し、必要な支援を一緒に考え、一人ひとりの状況に応じた支援プランを作成し、自立に向けた支援を行う。

イ 住居確保給付金事業

離職などにより住居を失った者、または失うおそれの高い者に、就職に向けた活動を行うこと等を条件に、一定期間、家賃相当額を支給し生活の土台となる住居を整えた上で、就職に向けた支援を行う。

ウ 就労準備支援事業

社会や他人との関わりに不安があるなど、すぐに就労困難な者に一定期間の就労準備講習(プログラム)に沿って、日常生活や社会生活に必要な基礎能力を培いながら、就労自立に向けた支援や就労機会の提供を行う。

エ 一時生活支援事業

住居を持たない者、ネットカフェ等の不安定な居住形態にある者へ、一定期間内に限り宿泊場所や衣食の提供を行うとともに退所後の生活に向けて、就労支援などの自立支援を行う。

オ 家計相談支援事業

家計問題の相談について、状況に応じた支援計画を作成し経済状況の立て直しを支援する。

カ 就労訓練事業

すぐに一般就労することが難しい者のために、その者に合った作業機会を提供しながら、個別の就労支援プログラムに基づき、一般就労に向けた支援を中・長期で実施する。

表3 相談件数

平成29年度末現在(単位:件)

国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	その他	合計
15	15	5	42	42	3	4	3	51	180

・住居確保給付金事業利用: 1名

・一時生活支援事業利用: 2名

2 障害者福祉

(1) 障害者福祉（障害者総合支援法）

平成18年4月、障害者自立支援法が施行され、これまで3障害（身体障害・知的障害・精神障害）ごとに異なる制度で提供されていたサービスが一元化された。また、平成25年4月からは、障害者自立支援法を障害者総合支援法（障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）とするとともに、障害者の定義に難病等が含まれるようになった。

ア 障害福祉サービスの給付体系

障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス体系は、自立支援給付と地域生活支援事業から成り立っている。

自立支援給付は、介護を行うためのサービス（居宅介護、児童デイサービス、短期入所等）に対して支給される介護給付と、障害者の適性に応じて一定の訓練を行うサービス（自立訓練、就労移行支援、共同生活援助等）に対して支給される訓練等給付があり、全国で共通したサービスが提供されている。この他、自立支援医療と補装具がある。

表1 管内障害福祉サービス事業所

平成29年度末現在（単位：事業所）

サービス種別	市町村別	名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	合計
居宅介護		14	0	0	1	2	3	1	1	1	23
重度訪問介護		14	0	1	1	2	3	1	1	0	23
同行援護		4	0	0	0	0	1	0	0	0	5
療養介護		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
生活介護		13	0	2	0	1	1	0	0	0	17
短期入所		7	0	2	0	0	1	0	0	0	10
自立訓練(生活)		2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
就労移行		6	0	0	0	2	2	0	0	0	10
就労継続(A型)		5	0	0	0	0	0	0	0	0	5
就労継続(B型)		13	2	1	1	5	3	2	0	1	28
共同生活援助		6	0	1	0	1	1	0	0	1	10
施設入所支援		4	0	2	0	0	1	0	0	0	7
計画相談支援		10	0	1	0	3	0	1	0	0	15
地域移行支援		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
地域定着支援		3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
児童発達支援		14	0	0	0	2	1	0	0	0	17
放課後等デイサービス		13	0	0	0	3	1	0	0	0	17
保育所等訪問支援		1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
障害児入所支援		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
障害児相談支援		10	0	1	0	3	0	1	0	0	15
医療型障害児入所支援		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計		145	2	11	3	25	18	6	2	3	215

地域生活支援事業は、自治体が地域の実情や利用者の状況に応じて柔軟に実施するものであり、各自治体ごとに事業内容（相談支援、コミュニケーション支援、日常生活用具の給付等）が定められている。

イ 相談支援事業と地域自立支援協議会

市町村において、地域生活支援事業として相談支援事業を実施し、障害者、その保護者、介護者等からの相談に応じ、必要な情報提供等や権利擁護のために必要な援助を行っている。さらに、地域自立支援協議会を設置し、地域の相談支援体制やネットワークの構築を行うこととなっている。

管内市町村の相談支援事業は、すべて指定相談支援事業者に委託されており、定例会等で情報共有を行っている。また、北部圏域アドバイザーが1名配置されており、相談支援体制の構築に係る指導・調整等を行っている。

地域自立支援協議会については、9市町村（全市町村）に設置済みである。

表2 平成29年度 地域自立支援協議会設置・運営状況

平成29年度末現在

市町村名	設置年月	全体会 (開催回数)	専門部会 (開催回数)	専門部会 (設置状況)
名 護 市	20年2月	1	10	相談支援専門部会、住宅支援専門部会、就労支援専門部会、こども支援専門部会
国 頭 村	21年3月	1	13	子ども専門部会、住まい・暮らし部会、相談部会
大 宜 味 村	21年3月	1	20	住まい暮らし部会、相談支援部会、就労支援部会準備会、子ども療育部会準備会
東 村	21年3月	2	6	相談支援部会
今 帰 仁 村	21年10月	1	18	相談支援部会、精神相談支援部会、子ども部会準備会
本 部 町	20年1月	1	6	相談支援部会
伊 江 村	21年3月	1	17	相談部会、地域連携会議、住まい・暮らし（居場所作り）部会準備会
伊 平 屋 村	20年3月	3	3	専門部会
伊 是 名 村	20年1月	0	0	相談部会、子ども部会

福祉事務所では、北部圏域障害者自立支援連絡会議を平成19年度に設置し、市町村及び関係機関と相談支援体制の構築に向けた意見交換を行っている。また、平成24年度以降、連絡会議の下部組織として、各部会（療育・教育部会、就労支援部会、住まい・暮らし部会、相談部会）を設置し、それぞれの課題についての検討や意見交換、研修会等を実施している。

(2) 身体障害者福祉

ア 身体障害者の状況

(ア) 身体障害者の定義

身体障害者福祉法第4条において定義づけられており、「身体障害者とは、視覚・聴覚又は平衡機能・音声機能、言語機能又はそしゃく機能・肢体不自由・心臓、じん臓又は呼吸器の機能の障害が永続するもので18歳以上の者であって、都道府県知事から身体障害者

手帳の交付を受けたもの」とされている。なお、18歳未満の者であっても、前述に掲げる身体上の障害がある場合は、身体障害者手帳の交付を受けることができる。

(イ) 身体障害者手帳の交付状況

保健福祉サービスを受ける場合や、税の減免、鉄道運賃の割引等の各種の制度を利用するための、身体障害者であることの証票として交付する。

表3 年度別交付状況 (単位：人)

	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
25年度	1,657	861	786	705	171	299	4,479
26年度	1,836	874	703	699	181	289	4,582
27年度	1,813	857	702	707	180	283	4,542
28年度	1,893	865	704	733	181	285	4,661
29年度	1,918	841	686	726	176	290	4,637

表4 等級別交付状況 平成29年度末現在 (単位：人)

級別	1級	2級	3級	4級	5級	6級	合計
市町村別							
名護市	1,121	529	413	397	95	144	2,699
国頭村	96	52	34	36	12	24	254
大宜味村	56	22	21	30	9	16	154
東村	44	10	11	18	2	8	93
今帰仁村	192	64	52	71	18	26	423
本部町	249	105	83	96	24	45	602
伊江村	103	37	41	44	11	12	248
伊平屋村	32	12	14	15	2	8	83
伊是名村	25	10	17	19	3	7	81
合計	1,918	841	686	726	176	290	4,637

表5 障害別交付状況 平成29年度末現在 (単位：人)

障害別	視覚障害	聴覚又は 平衡機能 障害	音声・言語 咀嚼機能 障害	肢体 不自由	内部障害	合計
市町村別						
名護市	131	218	31	1,271	1,048	2,699
国頭村	15	33	2	114	90	254
大宜味村	10	26	2	55	61	154
東村	3	9	0	39	42	93
今帰仁村	21	42	4	177	179	423
本部町	42	67	11	259	223	602
伊江村	11	11	6	118	102	248
伊平屋村	7	12	1	24	39	83
伊是名村	4	15	1	27	34	81
合計	244	433	58	2,084	1,818	4,637

※障害が重複する場合、主な障害に計上している。

(ウ) 自立支援医療（更生医療）受給者数

表 6

平成29年度末現在（単位：人）

障害別	市町村別									
	名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	合計
視覚障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
聴覚又は平衡機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
音声・言語咀嚼機能障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
肢体不自由	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
内部障害	心臓	46	3	1	1	2	2	6	1	63
	腎臓	181	17	11	11	38	46	32	2	342
	免疫	8	0	1	0	1	3	0	1	14
	その他	2	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	238	20	13	12	41	51	38	4	5	422

(3) 知的障害者福祉

ア 知的障害者の状況

(ア) 知的障害者の定義

知的障害者については、知的障害者福祉法上定義づけられていないが、「知的機能の障害が発達期（概ね18才まで）にあらわれ、日常生活に支障が生じているため、何らかの特別の援助を必要とする状態にある者」とされている。

表 7

平成29年度末現在（単位：人）

市町村 所在区分	市町村別									合計
	名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	
在宅	564	47	17	13	78	63	33	4	4	823
施設入所	71	16	12	17	18	24	12	8	10	188
合計	635	63	29	30	96	87	45	12	14	1,011

(イ) 療育手帳の交付状況

知的障害者（児）に対して一貫した指導・相談を行うとともに、知的障害者（児）に対する各種の援助措置を受け易くするために交付する。

表 8 療育手帳の交付状況

平成29年度末現在（単位：人）

市町村		市町村別									合計	
障害程度		名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村		
障害の程度	A 1	児	7	1	0	0	0	2	0	1	0	11
		者	52	5	2	2	10	19	7	2	3	102
	A 2	児	16	1	0	0	2	5	0	0	0	24
		者	145	17	13	7	26	45	14	4	1	272
	B 1	児	41	0	0	2	10	12	0	1	0	66
		者	176	22	24	10	50	67	14	3	5	371
B 2	児	76	5	2	1	8	12	7	3	0	114	
	者	197	20	5	11	33	67	10	4	8	355	
計	児	140	7	2	3	20	31	7	5	0	215	
	者	570	64	44	30	119	198	45	13	17	1,100	
合計		710	71	46	33	139	229	52	18	17	1,315	

※障害の程度 A 1：最重度 A 2：重度 B 1：中度 B 2：軽度

(4) 自立支援給付支給事務等に関する市町村指導及び障害福祉サービス事業者等指導

ア 自立支援給付支給事務等に関する市町村指導

目的：市町村の自立支援給付支給事務が円滑及び適正に実施されるよう、支給事務に関する事項について周知徹底させる。

根拠法令：地方自治法（昭和22年法律第67号）第245条の4

指導件数：平成29年度 実施 4件

イ 障害福祉サービス事業者等指導

目的：障害福祉サービス事業者等に対し、自立支援給付対象サービス等の取扱い、自立支援給付に係る費用の請求等に関する事項について周知徹底させる。

根拠法令：障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（平成17年法律第123号）第11条第2項

指導件数：平成29年度 実施 21件

(5) 特別障害者手当

ア 手当の概要

特別障害者手当は、昭和61年障害福祉年金等の制度改革に伴い、それまでの福祉手当の支給額、支給要件等を改善し、重度の障害のために必要となる精神的、物質的な特別の負担の軽減の一助として支給されることになったものである。

(ア) 特別障害者手当

精神又は身体に重度の障害を有するため日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳以上の者。

(イ) 障害児福祉手当

精神又は身体に重度の障害を有するため日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の者。

(ウ) 福祉手当

20歳以上の従来の福祉手当の受給資格者のうち、特別障害者手当の支給要件に該当せず、かつ障害基礎年金を受給できない者に対して、経過措置として従来の福祉手当が支給されている。

イ 特別障害手当等支給状況

表9 特別障害手当等受給件数

平成29年度末現在（単位：件）

市町村名 手当別	国頭村	大宜味村	東 村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	合 計
特別障害者手当	5	1	1	16	13	1	1	0	38
障害児福祉手当	8	0	0	7	8	1	0	0	24
福祉手当 (経過措置)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	13	1	1	23	21	2	1	0	62

(6) 沖縄県心身障害者扶養共済制度

この制度は、心身障害者を扶養している保護者を加入者とし、毎月一定の掛金を納めることにより、保護者に万一（死亡・重度障害）のことがあったときに、その扶養する心身障害者に終身一定額の年金を支給するものである。

加入できる人

将来独立自活することが困難であると認められる障害者（知的障害、身体障害（身体障害者手帳1級～3級）及びこれらと同程度と認められる精神又は身体の永続的な障害を有する者）を扶養している保護者で、次の条件にあてはまる時。

- ① 住所が沖縄県にあること。
- ② 65歳未満であること。
- ③ 特別な疾病又は障害を有していない者であること。

年金の給付

加入者が死亡し、又は重度障害となったときは、その月からその者が扶養していた心身障害者に対し、月額2万円の年金が支給される（2口加入の場合は4万円）。

申請方法

保護者（加入申込者）の居住地の福祉事務所の窓口へ申請書に必要書類を添えて申し込む。

表10 心身障害者扶養共済制度加入等状況

平成29年度末現在（単位：人）

	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	計
新規加入者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加入者数	2	0	0	2	4	2	0	0	10
受給者数	2	3	0	1	3	2	0	0	11

3 児童福祉

出生率の低下による少子化の進行、子どもの貧困、社会生活環境の変動等、児童を取り巻く環境は大きく変化しており、児童福祉施策の推進は一層重要となっている。当福祉事務所は児童相談所、市町村及びその他の関係機関との連携を密にすることにより児童福祉施策の充実強化を図り、児童福祉の向上を図るための業務を行っている。

(1) 管内児童人口の状況

名護市を除く管内町村の18歳未満の人口は、平成30年3月末現在、6,870人で、総人口に占める割合は17.3%となっている。

町村別の総人口に占める児童人口の割合は、伊平屋村が22.3%と管内で最も高く、今帰仁村、本部町と続いている。

表1 年度別児童人口

(単位：人、%)

		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
名護市	児童人口	13,302	14,235	13,956	13,946	13,876	
	総人口	61,465	61,494	61,683	61,970	62,146	
	比率	21.6	23.1	22.6	22.5	22.3	
管内 町村	国頭村	児童人口	832	831	824	823	804
		総人口	5,078	5,072	4,977	4,915	4,805
		比率	16.4	16.4	16.6	16.7	16.7
	大宜味村	児童人口	462	448	439	440	462
		総人口	3,270	3,232	3,156	3,156	3,115
		比率	14.1	13.9	13.9	13.9	14.8
	東村	児童人口	309	311	285	272	268
		総人口	1,875	1,877	1,833	1,802	1,798
		比率	16.5	16.6	15.5	15.1	14.9
	今帰仁村	児童人口	1,729	1,726	1,807	1,813	1,793
		総人口	9,578	9,591	9,611	9,557	9,469
		比率	18.1	18.0	18.8	19.0	18.9
	本部町	児童人口	2,249	2,256	2,268	2,290	2,270
		総人口	13,654	13,589	13,556	13,404	13,293
		比率	16.5	16.6	16.7	17.1	17.1
	伊江村	児童人口	746	737	787	777	778
		総人口	4,720	4,696	4,692	4,633	4,569
		比率	15.8	15.7	16.8	16.8	17.0
	伊平屋村	児童人口	276	277	263	260	279
		総人口	1,274	1,277	1,247	1,234	1,251
		比率	21.7	21.7	21.1	21.1	22.3
	伊是名村	児童人口	286	284	278	262	216
		総人口	1,545	1,547	1,508	1,478	1,433
		比率	18.5	18.4	18.4	17.7	15.1
管内町村合計	児童人口	6,889	6,870	6,951	6,937	6,870	
	総人口	40,994	40,881	40,580	40,179	39,733	
	比率	16.8	16.8	17.1	17.3	17.3	

(2) 家庭児童相談室

家庭児童相談室は、家庭児童の福祉に関する相談や指導業務の充実強化を図るため、福祉事務所に設置されている。家庭児童福祉主事及び家庭児童支援員が配置され、町村の児童福祉担当者や児童相談所と連携を密にし児童福祉の向上に努めている。

平成29年度は916件であり、主な相談種別は虐待が558件、環境福祉が138件となっている

表2 相談種別の状況(延べ件数)

平成29年度末現在(単位:件)

区分		市町村名										計	
		名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	明舎(町村)含む(不)		その他市
相談種別	性格・生活習慣等		2									2	
	知能・言語		3									3	
	学校生活等	人間関係		8									8
		不登校		4			25	2					31
		その他		2									2
	非行	1	31	15		13						60	
	家族関係	虐待	18	3		333	13	189	2				558
		その他		41		10		12					63
	環境福祉	2	46	45		21	24					138	
	心身障害		5									5	
	助産	5				3	1					9	
	その他	1	18	10	8							37	
	計		27	163	70	351	75	228	2	0	0	0	916

表3 年度別件数(延べ)

(単位:件)

区分	生活習慣・性格	知能・言語	学校生活等	非行	家族関係	環境福祉	心身障害	助産	その他	計
平成25年度	3	7	81	20	168	197	0	5	178	659
平成26年度	10	0	61	18	236	412	0	9	61	807
平成27年度	5	0	82	0	182	500	4	11	111	895
平成28年度	187	0	155	147	414	447	53	21	100	1,524
平成29年度	2	3	41	60	621	138	5	9	37	916

福祉事務所における児童相談の受付経路別件数と処理件数は、表4及び表5のとおりである。

平成29年度の受付経路は、市町村から通告が46件と6割以上となっている。また、受付件数71件のうち、43件が相談・助言となっている。

表4 受付経路別件数（実数）

平成29年度末現在（単位：件）

発見	児童委員の通告	児童相談所からの送致	児童相談所からの委嘱	保健所からの通知	警察関係から通告	その他都道府県（指定都市含む）から通告	市町村から通告	学校から相談	家族・親戚から相談	本人から相談	その他から通告等	合計
9		4		1			46	1	8		2	71

表5 処理件数（実数）

平成29年度末現在（単位：件）

知的障害者福祉司又は社会福祉主事者の指導	助産施設	母子生活支援施設	法第22条・23条の通告または通知	児童相談所への送致又は通知	児童相談所の委嘱による調査の完了	他の機関にあつせん・紹介	相談・助言・その他	合計
	8					20	43	71

(3) 要保護児童対策地域協議会

ア 概要

児童福祉法第25条の2において、地方公共団体は、単独又は共同して要保護児童の適切な保護又は要支援児童若しくは特定妊婦への適切な支援を図るため、関係機関、関係団体及び児童の福祉に関連する職務に従事する者、その他関係者により構成される要保護児童対策地域協議会を置くように努めなければならないとされている。

当所においても、管内各市町村の要保護児童対策地域協議会の構成メンバーとして、代表者会議、実務者会議、個別支援会議へ参加している。

表6 要保護児童対策地域協議会開催状況

市町村名	設置年月日	平成29年度協議会開催回数		
		代表者会議	実務者会議	個別支援会議
名護市	平成24年 4月 1日	1	5	89
国頭村	平成20年 1月29日	1(1)	0	40(10)
大宜味村	平成23年 9月 1日	1(1)	1(1)	3
東村	平成18年 3月31日	1(1)	2(2)	14 (14)
今帰仁村	平成19年 5月 1日	0	0	30(11)
本部町	平成23年 2月 1日	1	0	3(3)
伊江村	平成18年 4月 3日	0	0	3
伊平屋村	平成18年12月18日	0	0	0
伊是名村	平成23年 2月23日	0	0	0

※右()は、当所担当者参加回数再掲

(4) 助産制度

ア 根拠

児童福祉法第22条には、福祉事務所は、妊産婦が保健上必要があるにもかかわらず、経済的理由により、入院助産を受けることができない場合において、その妊産婦から申し込みがあったときは、その妊産婦に対し助産施設において助産を行わなければならないと規定している。

イ 助産施設

助産施設は、児童福祉法第36条で規定されており、児童福祉施設のひとつである。児童福祉施設は、児童の心身ともに健やかな成長を図り、将来児童が健全な社会生活を営むことができるように、児童に適切な生活環境を与えることを目的としている。児童の健全育成という考え方には妊産婦の健康の維持も含まれるものとされ、助産施設は安全な出産のために位置づけられているものである。

表7 助産施設入所措置状況

平成29年度末現在(単位:人)

市町村名 施設名	名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	計
県立北部病院	4				2	1				7
県立中部病院	1									1
計	5				2	1				8

(5) 保育行政・保育所指導監査

ア 保育行政指導監査(平成29年度)

目的：市町村の保育所入所事務や保育所運営費負担金等保育行政の適正かつ円滑なる実施を確保するため、必要な助言・勧告又は是正の措置を講ずる。

実施市町村：4村(伊平屋村、伊江村、国頭村、大宜味村)

イ 公立保育所指導監査(平成29年度)

目的：公立保育所指導監査は入所児童処遇、職員の配置及び勤務条件、設備の状況等施設運営管理全般の状況を把握し、適正な施設運営管理の確保のための助言指導を行う。

実施箇所：名護市(1か所)国頭村(2か所)大宜味村(2か所)東村(1か所)
今帰仁村(4か所)本部町(1か所)伊江村(2か所)伊平屋村(1か所)
伊是名村(1か所)

4 老人福祉・介護保険

高齢社会の急速な進行、老人自身の心身機能の低下による寝たきり老人及び認知症老人の増加、核家族化に伴う一人暮らしや老人夫婦世帯の増加、家庭における介護機能の低下と扶養意識の減退等、老人を取り巻く社会環境はますます複雑化、困難化の度を深めている。

県においては、平成12年4月から介護保険制度が実施されたことから、「沖縄県介護保険事業支援計画」を含む総合的な計画として「沖縄県高齢者保健福祉計画」を策定し、介護予防・健康づくりや生きがいづくりを積極的に進めることにより高齢者の社会的活動への参加を促進している。

また、保健・医療・福祉の連携をより一層強化し、総合的なサービスを提供するための基盤整備を行い、だれもが住み慣れた家庭や地域で、できる限り自立し、安心した生活が出来るよう、その実現に向かって取り組むべき施策を明らかにしている。

(1) 高齢人口(65歳以上)

名護市を除く管内町村の65歳以上の高齢人口は、平成29年10月1日現在で11,978人であり、総人口に占める割合は、29.9%で前年度に比べて0.9ポイントの増となっている。

なお、北部福祉事務所管内の状況は下表のとおりである。

表1 高齢人口

平成29年10月1日現在(単位:人、%、世帯)

市町村名	総人口 A	高齢 人口 B	高齢化率の推移 B/A (%)			総世帯数	高齢者のいる世帯				
			27年	28年	29年		総数	高齢者 単身世帯	高齢者 世帯	その他	
名護市	62,691	12,966	19.3	20.0	20.7	29,019	8,949	3,596	2,150	3,203	
管内 町村	国頭村	4,894	1,560	29.9	30.5	31.9	2,385	1,118	520	234	364
	大宜味村	3,130	1,067	32.6	33.6	34.1	1,656	619	383	85	151
	東村	1,801	573	29.1	30.4	31.8	918	416	184	102	130
	今帰仁村	9,492	2,819	27.7	28.7	29.7	4,320	1,897	922	381	594
	本部町	13,378	3,773	26.3	27.4	28.2	6,250	2,747	1,184	637	926
	伊江村	4,622	1,415	28.7	30.1	30.6	2,224	996	445	277	274
	伊平屋村	1,252	340	25.9	26.2	27.2	593	236	98	61	77
	伊是名村	1,501	431	28.1	28.3	28.7	805	326	182	58	86
	合計	40,070	11,978	28.0	29.0	29.9	19,151	8,355	3,918	1,835	2,602

資料：高齢者福祉介護課・高齢者福祉関係基礎資料より抜粋

(2) 介護保険事業者の指定・変更・実地指導状況及び管内事業所数

北部福祉事務所では、管内の介護保険事業者に関する指定・更新・変更届出等に関する業務を行っている。

また、介護保険法において、都道府県は、指定事業者が指定基準を充たし適切な事業運営を行っているかについて、指導監督を行うよう規定されていることから、当所では管内の事業者に対し実地指導を行っている。

なお、北部福祉事務所管内の指定、更新及び実地指導状況は下表のとおりである。

表2 指定及び実地指導実施状況 (単位:件)

サービスの種類	平成29年度		
	指定	更新	実地指導
訪問介護	0	1	2(2)
訪問入浴介護	0	0	0
訪問看護	1(1)	0	3(3)
通所介護	1(1)	2	2(2)
通所リハビリ	0	0	0
福祉用具貸与	0	(2)	3(3)
特定福祉用具販売	0	2(2)	3(3)
居宅介護支援	3	(2)	6
合計	5(2)	5(6)	19(13)

※ () 内の数字は介護予防サービスについての件数

表3 北部福祉事務所管内介護保険事業所数 平成29年度末現在 (単位:事業所)

種類 市町村	訪問 介護	訪問 看護	通所 介護	通所 リハビリ	福祉用具 貸与販売	居宅介護 支援	合計
名護市	26	8	15	7	8	28	92
国頭村	1	1	1	0	0	1	4
大宜味村	2	0	2	0	0	2	6
東村	1	0	0	0	0	0	1
今帰仁村	5	1	4	1	0	4	15
本部町	3	0	3	2	0	4	12
伊江村	1	0	1	0	0	3	5
伊平屋村	1	0	1	0	0	1	3
伊是名村	0	0	0	0	0	1	1
合計	40	10	27	10	8	44	139

(3) 高齢者福祉関係基礎資料

表 4

平成29年10月1日現在 (単位:人、%、世帯)

市町村名	人 口						総世帯数	高齢者のいる世帯			
	総人口 A	65歳 以上 B	75歳 以上 C	人口比率		総数 (世帯)		高齢者 単身 世帯	高齢者 世帯	その他 世帯	
				B/A (%)	C/B (%)						
1 那 覇 市	322,875	69,822	35,730	21.6	11.1	150,201	51,350	21,451	10,774	19,125	
2 宜野湾市	98,149	17,555	8,720	17.9	8.9	43,115	12,700	5,023	2,857	4,820	
3 石 垣 市	49,940	9,939	4,824	19.9	9.7	24,086	7,307	3,253	1,945	2,109	
4 浦 添 市	114,113	20,798	10,020	18.2	8.8	48,685	14,531	5,455	3,578	5,498	
5 名 護 市	62,691	12,966	6,379	20.7	10.2	29,019	8,949	3,596	2,150	3,203	
6 糸 満 市	61,147	11,914	5,720	19.5	9.4	25,570	8,644	3,296	1,794	3,554	
7 沖 縄 市	141,767	26,876	13,404	19.0	9.5	60,675	19,972	8,409	4,103	7,460	
8 豊見城市	63,626	11,014	4,971	17.3	7.8	25,033	7,189	1,953	1,952	3,284	
9 う る ま 市	122,885	25,414	12,704	20.7	10.3	50,628	18,233	6,823	3,830	7,580	
10 宮古島市	54,425	13,471	7,333	24.8	13.5	26,263	9,563	4,111	2,732	2,720	
11 南 城 市	43,443	10,571	5,448	24.3	12.5	17,288	6,987	2,064	1,759	3,164	
12 国 頭 村	4,894	1,560	877	31.9	17.9	2,385	1,118	520	234	364	
13 大宜味村	3,130	1,067	590	34.1	18.8	1,656	619	383	85	151	
14 東 村	1,801	573	297	31.8	16.5	918	416	184	102	130	
15 今帰仁村	9,492	2,819	1,523	29.7	16.0	4,320	1,897	922	381	594	
16 本 部 町	13,378	3,773	1,962	28.2	14.7	6,250	2,747	1,184	637	926	
17 恩 納 村	11,024	2,444	1,265	22.2	11.5	5,187	1,678	609	355	714	
18 宜野座村	5,989	1,355	666	22.6	11.1	2,379	856	364	147	345	
19 金 武 町	11,482	2,880	1,562	25.1	13.6	5,299	2,139	1,029	450	660	
20 伊 江 村	4,622	1,415	835	30.6	18.1	2,224	996	445	277	274	
21 読 谷 村	41,334	8,189	4,161	19.8	10.1	16,019	5,634	1,710	1,236	2,688	
22 嘉手納町	13,724	3,074	1,726	22.4	12.6	5,612	2,242	872	386	984	
23 北 谷 町	29,206	5,440	2,674	18.6	9.2	12,173	3,807	1,194	815	1,798	
24 北中城村	17,096	3,578	1,874	20.9	11.0	6,938	2,509	860	580	1,069	
25 中 城 村	20,690	3,769	1,925	18.2	9.3	8,286	2,583	781	557	1,245	
26 西 原 町	35,139	6,752	3,056	19.2	8.7	14,120	4,625	1,328	1,146	2,151	
27 与那原町	19,523	3,634	1,693	18.6	8.7	7,966	2,450	902	475	1,073	
28 南風原町	38,366	6,463	3,009	16.8	7.8	14,480	4,222	1,128	1,048	2,046	
29 渡嘉敷村	704	162	92	23.0	13.1	424	85	15	30	40	
30 座間味村	943	192	115	20.4	12.2	567	141	63	29	49	
31 粟 国 村	714	269	178	37.7	24.9	431	220	107	46	67	
32 渡名喜村	380	154	97	40.5	25.5	220	67	15	15	37	
33 南大東村	1,278	291	160	22.8	12.5	661	200	97	81	22	
34 北大東村	571	118	59	20.7	10.3	275	80	26	15	39	
35 伊平屋村	1,252	340	194	27.2	15.5	593	236	98	61	77	
36 伊是名村	1,501	431	257	28.7	17.1	805	326	182	58	86	
37 久米島町	8,016	2,220	1,246	27.7	15.5	3,993	1,627	746	379	502	
38 八重瀬町	30,889	6,113	3,035	19.8	9.8	11,852	4,222	1,342	893	1,987	
39 多良間村	1,175	333	182	28.3	15.5	526	203	81	56	66	
40 竹 富 町	4,305	923	516	21.4	12.0	2,479	707	355	149	203	
41 与那国町	1,706	350	167	20.5	9.8	920	508	58	109	341	
合 計	1,469,385	301,021	151,246	20.5	10.3	640,521	214,585	83,034	48,306	83,245	

※本票は、各市町村から報告のあったH29. 10. 1現在の住民基本台帳のデータに基づく数値を取りまとめたものである。

※高齢者のいる世帯は、各市町村の把握している在宅の高齢者がいる世帯。

※高齢者世帯とは、65歳以上の者のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の者が加わった世帯。

(出典) 高齢者福祉介護課 「高齢者福祉関係基礎資料」

5 母子父子寡婦福祉

社会状況が厳しさを増す中、生別母子及び父子世帯が増加している。これらの母子世帯の母親は経済的に不安定な状況が多く、時代とともに抱える問題も多様化しており、父子世帯の父親においても、就業及び所得の状況から母子世帯と同様の困難を抱える世帯が増加している。これらの母子世帯等に対し、母子及び父子並びに寡婦福祉法に基づく母子父子寡婦福祉資金の貸付による経済的な援助を中心に、生活相談及び指導等を行い、福祉の向上に努めているところである。また、父子世帯の父においては「自立支援教育訓練給付金事業」及び「高等技能訓練促進費等事業」が平成25年4月1日から、「父子福祉資金」が平成26年10月1日から適用となった。

(1) 母子世帯の実態

北部管内の母子世帯数は、平成29年度末現在1,432世帯、総世帯数に占める割合は2.99%となっている。最も出現率が高いのは、国頭村の3.41%、続いて名護市3.14%、本部町3.06%となっている。

(2) 父子世帯の実態

北部管内の父子世帯数は、平成29年度末現在192世帯、総世帯数に占める割合は0.4%となっている。最も出現率が高いのは、伊是名村の0.78%となっている。

市町村	区分	全世帯数	母子世帯数		父子世帯数	
				出現率		出現率
名護市		28,835	904	3.14	113	0.39
国頭村		2,347	80	3.41	10	0.43
大宜味村		1,648	39	2.37	9	0.55
東村		925	21	2.27	2	0.22
今帰仁村		4,338	123	2.84	23	0.53
本部町		6,274	192	3.06	22	0.35
伊江村		2,226	53	2.38	6	0.27
伊平屋村		571	11	1.93	1	0.18
伊是名村		766	9	1.17	6	0.78
郡部計		19,095	528	2.77	79	0.41
管内計		47,930	1,432	2.99	192	0.40

表1 市町村別、母子・父子世帯数及び出現率 平成29年度末現在（単位：世帯・%）

※「沖縄県ひとり親世帯等実態調査」によると、平成25年8月1日現在、県内の母子世帯数は29,894世帯、父子世帯数は4,912世帯と推定され、総世帯数に占める割合はそれぞれ5.46%、0.90%となっている。

(3) 母子及び父子並びに寡婦福祉対策

ア 母子福祉資金の貸付

母子福祉資金は、20歳未満の子を扶養している配偶者のいない女子を対象に、その経済的自立を図るため無利子または低利子で貸付けを行う制度であり、母子福祉対策の中でも最も重要な位置を占めている。資金は修学資金等12種類あり（児童扶養資金は平成19年7月で終了）、過去5年間の貸付件数は139件で、貸付総額は71,610千円となっている。

表2 母子福祉資金 年度別・資金別貸付状況

(単位：件、千円)

年度別 資金別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
事業開始					1	1,845					1	1,845
事業継続											0	0
修学	16	8,559	10	6,164	15	8,820	17	8,940	10	5,776	68	38,259
技能習得	5	2,767	5	3,264	5	2,176	3	1,608	2	792	20	10,607
修業	1	230			1	261					2	491
就職支度			1	100							1	100
医療介護											0	0
生活	3	1,464	2	1,014	4	1,507	2	595	2	904	13	5,484
住宅											0	0
転宅			1	133	1	100					2	233
就学支度	5	2,950	10	4,927	7	4,040	6	1,507	4	1,167	32	14,591
結婚											0	0
計	30	15,970	29	15,602	34	18,749	28	12,650	18	8,639	139	71,610

表3 平成29年度 母子福祉資金、市町村別貸付状況

(単位：件、千円)

		名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	合計
		事業開始	件数 金額								
事業継続	件数 金額										0 0
修学	件数	5	1				2	2			10
	金額	2,751	276				1,213	1,536			5,776
技能習得	件数	1					1				2
	金額	384					408				792
修業	件数										0
	金額										0
就職支度	件数										0
	金額										0
医療介護	件数										0
	金額										0
生活	件数						2				2
	金額						904				904
住宅	件数										0
	金額										0
転宅	件数										0
	金額										0
就学支度	件数	2					2				4
	金額	627					540				1,167
結婚	件数										0
	金額										0
合計	件数	8	1	0	0	0	7	2	0	0	18
	金額	3,762	276	0	0	0	3,065	1,536	0	0	8,639

イ 父子福祉資金の貸付

父子福祉資金は、20歳未満の子を扶養している配偶者のいない男子を対象に、その経済的自立を図るため無利子または低利子で貸付けを行う制度であり、平成26年10月1日から新設された。12種類の資金があり、平成29年度の貸付件数は4件で、貸付総額は2,350千円となっている。

表4 父子福祉資金 年度別・資金別貸付状況 (単位：件、千円)

年度別 資金別	平成27年度		平成28年度		平成29年度		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
事業開始							0	0
事業継続							0	0
修学			1	300			1	300
技能習得							0	0
修業							0	0
就職支度							0	0
医療介護							0	0
生活							0	0
住宅							0	0
転宅							0	0
就学支度	2	1,160	1	580	4	2,350	7	4,090
結婚							0	0
計	2	1,160	2	880	4	2,350	8	4,390

表5 平成29年度 父子福祉資金、市町村別貸付状況 (単位：件、千円)

市町村 資金別	名 護 市	国 頭 村	大 宜 味 村	東 村	今 帰 仁 村	本 部 町	伊 江 村	伊 平 屋 村	伊 是 名 村	合
										計
事業開始	件数									0
	金額									0
事業継続	件数									0
	金額									0
修学	件数									0
	金額									0
技能習得	件数									0
	金額									0
修業	件数									0
	金額									0
就職支度	件数									0
	金額									0
医療介護	件数									0
	金額									0
生活	件数									0
	金額									0
住宅	件数									0
	金額									0
転宅	件数									0
	金額									0
就学支度	件数	3					1			4
	金額	1,760					590			2,350
結婚	件数									0
	金額									0
合計	件数	3	0	0	0	0	1	0	0	4
	金額	1,760	0	0	0	0	590	0	0	2,350

ウ 寡婦福祉資金の貸付

寡婦福祉資金は、扶養する子が20歳に達した母子や子のない寡婦を対象に無利子または低利子で貸付を行う制度で、寡婦の経済的自立の助長と生活意欲の向上を図ることを目的としている。12種類の資金があり、過去5年間の貸付件数は4件で、貸付総額は2,047千円となっている。

表6 寡婦福祉資金 年度別・資金別貸付状況

(単位：件、千円)

年度別 資金別	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
事業開始											0	0
事業継続											0	0
修学	1	954	1	318	1	450			1	325	4	2,047
技能習得											0	0
修業											0	0
就職支度											0	0
医療介護											0	0
生活											0	0
住宅											0	0
転宅											0	0
就学支度											0	0
結婚											0	0
計	1	954	1	318	1	450	0	0	1	325	4	2,047

表7 平成29年度 寡婦福祉資金、市町村別貸付状況

(単位：件、千円)

資金別	市町村	名護市	国頭村	大宜味村	東村	今帰仁村	本部町	伊江村	伊平屋村	伊是名村	合計
											計
事業開始	件数										0
	金額										0
事業継続	件数										0
	金額										0
修学	件数	1									1
	金額	325									325
技能習得	件数										0
	金額										0
修業	件数										0
	金額										0
就職支度	件数										0
	金額										0
医療介護	件数										0
	金額										0
生活	件数										0
	金額										0
住宅	件数										0
	金額										0
転宅	件数										0
	金額										0
就学支度	件数										0
	金額										0
結婚	件数										0
	金額										0
合計	件数	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	金額	325	0	0	0	0	0	0	0	0	325

エ 母子父子寡婦福祉資金の償還状況

母子父子寡婦福祉資金は、母子世帯等の経済的自立を図るための貸付制度であるが、もともと生活基盤の弱い母子世帯等は不景気や就職難のあおりを受けやすく、沖縄県全体の償還率は毎年低い状況にある。北部管内についてみると、平成29年度の償還額は14,667千円、償還率は53.4%となっている。

表 8 平成29年度 母子福祉資金 資金別の調定額・償還額及び償還率 (単位：円、%)

区分 資金種別	合計			過年度・現年度別内訳					
				過年度分			現年度分		
	調定額	収入済額	償還率	調定額	収入済額	償還率	調定額	収入済額	償還率
事業開始	1,588,443	241,604	15.2%	1,324,875	0	0.0%	263,568	241,604	91.7%
事業継続	0	0	-	0	0	-	0	0	-
修学	16,743,854	9,086,396	54.3%	7,871,568	1,188,660	15.1%	8,872,286	7,897,736	89.0%
技能習得	1,093,656	1,052,859	96.3%	36,264	27,198	75.0%	1,057,392	1,025,661	97.0%
修業	1,097,449	393,410	35.8%	766,921	93,332	12.2%	330,528	300,078	90.8%
就職支度	16,666	16,666	100.0%	0	0	-	16,666	16,666	100.0%
医療介護	0	0	-	0	0	-	0	0	-
生活	2,291,583	661,784	28.9%	1,482,973	94,772	6.4%	808,610	567,012	70.1%
住宅	0	0	-	0	0	-	0	0	-
転宅	174,878	82,272	47.0%	96,290	22,544	23.4%	78,588	59,728	76.0%
就学支度	2,835,999	1,879,349	66.3%	1,207,772	507,449	42.0%	1,628,227	1,371,900	84.3%
結婚	0	0	-	0	0	-	0	0	-
特例児童扶養	0	0	-	0	0	-	0	0	-
計	25,842,528	13,414,340	51.9%	12,786,663	1,933,955	15.1%	13,055,865	11,480,385	87.9%

表 9 平成29年度 父子福祉資金 資金別の調定額・償還額及び償還率 (単位：円、%)

区分 資金種別	合計			過年度・現年度別内訳					
				過年度分			現年度分		
	調定額	収入済額	償還率	調定額	収入済額	償還率	調定額	収入済額	償還率
事業開始	0	0	-	0	0	-	0	0	-
事業継続	0	0	-	0	0	-	0	0	-
修学	300,000	300,000	100.0%	0	0	-	300,000	300,000	100.0%
技能習得	0	0	-	0	0	-	0	0	-
修業	0	0	-	0	0	-	0	0	-
就職支度	0	0	-	0	0	-	0	0	-
医療介護	0	0	-	0	0	-	0	0	-
生活	0	0	-	0	0	-	0	0	-
住宅	0	0	-	0	0	-	0	0	-
転宅	0	0	-	0	0	-	0	0	-
就学支度	400,000	400,000	100.0%	0	0	-	400,000	400,000	100.0%
結婚	0	0	-	0	0	-	0	0	-
計	700,000	700,000	100.0%	0	0	-	700,000	700,000	100.0%

第10 平成29年度 寡婦福祉資金 資金別の調定額・償還額及び償還率

(単位:円、%)

区分 資金種別	合計			過年度・現年度別内訳					
	調定額	収入済額	償還率	過年度分			現年度分		
				調定額	収入済額	償還率	調定額	収入済額	償還率
事業開始	0	0	-			-			-
事業継続	0	0	-			-			-
修学	536,268	413,940	77.2%	109,728	8,400	7.7%	426,540	405,540	95.1%
技能習得	0	0	-			-			-
修業	0	0	-			-			-
就職支度	0	0	-			-			-
医療介護	0	0	-			-			-
生活	0	0	-			-			-
住宅	323,509	120,000	37.1%	323,509	120,000	37.1%			-
転宅	0	0	-			-			-
就学支度	18,996	18,996	100.0%			-	18,996	18,996	100.0%
結婚	0	0	-			-			-
計	878,773	552,936	62.9%	433,237	128,400	29.6%	445,536	424,536	95.3%

オ 自立支援教育訓練給付金事業

町村に住む雇用保険制度の教育訓練給付の受給資格がない母子家庭の母及び就業や所得の状況などから困難を抱える父子家庭の父に対し、その主体的な能力開発の取り組みを支援し、自立促進を図ることを目的として、適職に就くために必要であると認められる技能習得にかかる資金の6割に相当する額(上限:20万円)が支給される。当福祉事務所では平成29年度の支給実績はない。

カ 高等職業訓練促進費給付金事業

町村に住む母子家庭の母及び父子家庭の父が対象資格(看護師・准看護師・介護福祉士・保育士・理学療法士・作業療法士)を取得するため1年以上養成機関等で修業する場合に、その間の生活の負担の軽減を図るため、修業期間の一部または全部(上限3年)において、月額70,500円~100,000円が支給される。当福祉事務所では平成29年度は4名が受給している。

キ 母子父子福祉協力員

母子父子福祉協力員は、母子父子寡婦福祉資金の円滑な償還を図るため、福祉資金を利用している母子世帯等に対し償還計画及び支払いについて指導を行うとともに、担当区域内の母子世帯等の把握に努め、その福祉の増進を図ることを目的としている。

平成29年度においては、県内各福祉事務所に14名の母子福祉協力員が配置され、当福祉事務所では2名がその業務に当たっている。

表11 母子父子福祉協力員活動状況

区分 年度	人数 (人)	延勤務日数 (日)	延活動件数 (件)	平均活動件数 (件)
25年度	2	96	216	108
26年度	2	96	216	108
27年度	2	96	234	117
28年度	2	87	226	113
29年度	2	96	289	145

ク 母子父子相談事業（母子父子自立支援員）

母子父子自立支援員は、母子父子寡婦世帯の生活一般にかかる相談及び助言や、母子父子寡婦福祉資金の貸付相談等を行っている。沖縄県においては、郡部福祉事務所に8名の母子父子自立支援員がおり、当福祉事務所には2名が配置され、その業務に当たっている。

表12 平成29年度問題別相談の状況

(単位:件)

区分		前年度 繰越件数	新規相談 件数	合計	解決件数	翌年度 繰越件数	相談件数	
生活 一般	住宅							
	医療	病気						
		障害		1	1	1		1
		その他		1	1	1		1
	家庭 紛争	配偶者等の暴力						
		その他						
	就労	求職・転職						
		資格取得・職業訓練						
		職場の悩み						
		その他						
	結婚							
	養育費							
	借金							
	その他							
小 計			2	2	2		2	
児 童	養育	保育所入所						
		虐待						
		その他						
	教育							
	非行							
	就職							
その他								
小 計								
生 活 援 護	母子福祉資金	貸付	116	116	116		242	
		償還	252	252	252		371	
	父子福祉資金	貸付	23	23	23		60	
		償還	3	3	3		8	
	寡婦福祉資金	貸付	3	3	3		7	
		償還	1	1	1		1	
	公的年金							
	児童扶養手当							
	生活保護							
	税							
その他		24	24	24		44		
小 計			422	422	422		733	
そ の 他	売店設置							
	たばこ販売							
	母子世帯向公営住宅							
	父子世帯向公営住宅							
	母子・父子福祉施設の利用							
	母子生活支援施設							
小 計								
合 計			424	424	424	0	735	

6 配偶者暴力相談支援センター

(1) 業務の内容

配偶者暴力相談支援センターとは、配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護を図るための機関であり、都道府県は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」（DV防止法）第3条第1項に基づき、当該都道府県が設置する婦人相談所その他の適切な施設において同支援センターとしての機能を果たすこととなっている。

沖縄県では、女性相談所と各福祉事務所に配偶者暴力相談支援センター機能が付与されており、当所では、DV防止法第3条第3項に基づき、女性相談員等がDV被害者等から各般の問題について相談を受け、助言指導、法的援助、関係機関への紹介、自立支援、一時保護支援の業務を行っている。

(2) 相談状況

表1 年度別相談件数

(単位：件)

	来 所		電 話		出 張		合 計		
	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	合計
25年度	158(126)	0	266(195)	0	50(42)	0	474(363)	0	474(363)
26年度	202(176)	0	391(321)	1(0)	45(41)	0	638(538)	1(0)	639(538)
27年度	159(127)	3(2)	442(355)	15(12)	31(31)	0	632(513)	18(14)	650(527)
28年度	108(86)	0	376(277)	0	31(31)	0	515(394)	0	515(394)
29年度	90(71)	2(1)	320(218)	3(2)	18(14)	0	428(303)	5(3)	433(306)

※（ ）内は相談内容にDVを含むものの再掲

表2 平成29年度年齢別件数

(単位：件)

	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	不 明	合 計
名 護 市	1	26	68	54	51	61	3	16	280
国 頭 村	0	0	0	4	0	54	0	0	58
大宜味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東 村	0	0	2	2	0	0	1	0	5
今帰仁村	0	0	0	7	0	9	17	1	34
本 部 町	0	0	0	13	15	8	0	0	36
伊 江 村	0	0	0	1	0	0	0	0	1
伊平屋村	0	0	0	1	1	0	0	0	2
伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管 外	0	0	1	2	1	1	2	0	7
県 外	0	0	0	0	1	0	0	1	2
不 明	0	0	0	0	1	0	0	7	8
合 計	1	26	71	84	70	133	23	25	433

表3 平成29年度経路別件数

(単位：件)

経路 地域別	本人自身	警察関係	法務関係	他府県の 婦人相談所	他の 婦人相談員	福祉事務所	他の 相談機関	社会福祉 施設等	医療機関	教育関係	労働関係	知人等	縁故者	その他	合計
	名護市	128	23	35	3	29	4	23	0	7	4	0	21	3	280
国頭村	48	0	1	0	1	0	5	0	0	0	0	3	0	58	
大宜味村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東村	1	0	1	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	5	
今帰仁村	16	2	0	1	2	0	9	0	1	0	0	3	0	34	
本部町	13	6	0	2	0	1	1	0	2	0	0	0	11	36	
伊江村	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
伊平屋村	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
伊是名村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
他地区	5	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	9	
不明	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	0	8	
合計	213	33	39	7	33	5	43	0	11	4	0	31	14	433	

表4 年度別相談主訴状況

(単位：件)

主訴 年度別	人間関係													経済問題		医療問題		不純異性交遊	売春強要	ヒモ・暴力団関係	五条違反	合計					
	夫等			子ども		親族の問題	交際相手からの暴力	交際相手からの暴力	家庭不和	男女問題	ストーリーカー被害	その他	住居問題	帰住先なし	生活困窮	サラ金・借金	その他						病気	精神の問題	その他		
	夫等の暴力	酒・薬物依存	離婚問題	その他	子どもの暴力																					子どもの問題	
25年度	212	0	91	7	7	16	28	3	0	4	0	0	1	3	3	39	23	0	1	2	29	4	1	0	0	0	474
26年度	372	0	30	0	11	22	11	111	0	2	0	2	9	24	8	10	4	1	0	0	17	5	0	0	0	0	639
27年度	425	5	51	31	0	9	11	44	0	0	2	4	6	20	3	4	12	0	1	0	22	0	0	0	0	0	650
28年度	262	0	44	33	0	14	32	35	0	5	0	0	2	12	4	5	13	3	9	0	38	4	0	0	0	0	515
29年度	259	3	31	6	0	7	36	13	0	0	3	0	7	5	4	5	4	1	2	0	47	0	0	0	0	0	433

※五条違反…売春防止法第5条(勧誘等)

※交際相手からの暴力及びストーリーカー被害にかかる統計は平成25年度より実施

表5 平成29年度処理状況

(単位：件)

	助言指導	保護命令支援	来所指示	一時保護支援	自立支援	帰宅・知人宅等	その他	他機関紹介	紹介場所内訳(再掲)							合計	
									女性相談所	配暴センター	他の	福祉事務所	市町村役場	家庭裁判所	保健所		警察
来所	65	18	1	0	0	0	0	8	0	0	2	0	0	2	0	4	92
電話	231	37	42	0	0	0	0	13	1	1	3	0	0	0	1	7	323
出張	6	5	0	3	0	0	0	4	0	0	0	1	0	0	2	1	18
計	302	60	43	3	0	0	0	25	1	1	5	1	0	2	3	12	433